

2020年11月20日
株式会社FRONTEO
(コード2158：マザーズ)
〒108-0075 東京都港区港南 2-12-23 明産高浜ビル
代表取締役社長 守本正宏
問合わせ先：取締役 管理本部長 上杉知弘
電話番号：03-5463-6344

＜マザーズ＞投資に関する説明会開催状況について

以下の通り、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

開催状況

- 開催日時： 2020年11月17日（火）15:30～16:30
- 開催方法： 対面により実開催
- 開催場所： ステーションコンファレンス東京 6階 説明会会場
東京都千代田区丸の内1-7-12
- 説明会資料： 決算説明会資料（2021年3月期 第2四半期連結業績説明会）

【添付資料】

投資説明会にて使用した資料

2021年3月期 第2四半期 連結業績説明会

2020.11.17



2021年3月期 第2四半期 連結業績説明会

1. 2021年3月期 第2四半期 連結業績概要
2. 事業アップデート
3. 質疑応答

※本資料内では、以下の定義に基づいて記載しております。
FY2019：2020年3月期 FY2020：2021年3月期
Q1：4~6月期 Q2：7~9月期 Q3：10~12月期 Q4：1~3月期

■ ライフサイエンスAIでは複数の大手企業とのパートナーシップが加速し、 当社のコア事業として着実に事業化が進展

AI ソリューション

- 認知症診断支援AIシステムはPMDAとの準備面談が終了。治験開始に向けた本相談へ
- 日本マイクロソフトとライフサイエンス分野における協業を開始
- フォーカスシステムズとライフサイエンス分野において業務資本提携
- 学研ホールディングスと介護、教育事業において業務資本提携
- トヨタテクニカルディベロップメントの協力のもと、従来のシステムを高度化した特許調査支援システム「Patent Explorer Next」の開発に着手

リーガル テックAI

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、新規ディスカバリ案件の受注が減少。一方で、AIレビュー製品「KIBIT Automator」による案件獲得は積み上がっており、さらなる販売拡大を推進

2021年3月期 第2四半期 連結損益計算書

AIソリューション事業：ライフサイエンスAI、ビジネスインテリジェンス共に想定の範囲内の水準で推移
 リーガルテックAI事業：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、国内において新規案件の受注が減少
 「KIBIT Automator」による案件獲得は順調に積み上げ

(単位：百万円)	FY2019				FY2020 前年同期比				FY2020 期初予想
	Q1	Q2	YTD	年度合計	Q1	Q2	YTD	増減	
売上高	2,583	2,325	4,909	10,470	2,933	2,113	5,047	138	11,000
(AIソリューション事業)	280	318	598	1,353	489	282	771	173	
(リーガルテックAI事業)	2,303	2,007	4,310	9,117	2,444	1,830	4,275	▲35	
売上原価	1,670	1,479	3,149	6,427	1,707	1,285	2,992	▲157	
売上総利益	912	846	1,759	4,042	1,226	828	2,054	295	
売上比率	35%	36%	36%	39%	42%	39%	41%	4%	
販売費及び一般管理費	1,357	1,178	2,535	4,887	1,186	1,028	2,215	▲320	
営業利益	▲444	▲331	▲775	▲844	40	▲200	▲160	615	200
(AIソリューション事業)	▲87	▲61	▲148	▲178	37	▲159	▲121	27	
(リーガルテックAI事業)	▲357	▲269	▲626	▲665	2	▲41	▲38	588	
売上比率	▲17%	▲14%	▲16%	▲8%	1%	▲9%	▲3%	12%	2%
営業外収益(-)費用(+)(Net)	34	17	52	147	0	27	26	▲25	
経常利益	▲479	▲348	▲827	▲992	41	▲228	▲187	640	97
売上比率	▲19%	▲15%	▲17%	▲9%	1%	▲11%	▲4%	13%	1%
特別利益(-)損失(+)	▲26	153	127	146	▲30	▲18	▲48	▲175	
法人税等合計	▲13	▲13	▲26	▲224	40	▲68	▲28	▲2	
非支配持分利益	4	5	9	16	3	3	7	▲2	
当期純利益	▲444	▲494	▲938	▲929	28	▲144	▲116	822	10
売上比率	▲17%	▲21%	▲19%	▲9%	1%	▲7%	▲2%	16%	0%

(日本基準)

2021年3月期通期業績予想の変更なし

(単位：百万円)	FY2020 期首予想	上期実績	下期予想	FY2020 現時点予想
売上高	11,000	5,047	5,953	11,000
(AIソリューション事業)	1,850	771	1,679	2,450
(リーガルテックAI事業)	9,150	4,275	4,275	8,550
営業利益	200	▲ 160	360	200
(AIソリューション事業)	50	▲ 121	421	300
(リーガルテックAI事業)	150	▲ 38	▲ 62	▲ 100

下期見通し

ライフサイエンスAIをコアとするAIソリューション事業が、大型案件で下期業績を牽引
リーガルテックAI事業の見通しを保守的に捉え、修正等は実施せず、業績予想は据置き

➤ AIソリューション事業

下期偏重の季節性に加え、ライフサイエンスAIを中心に具体的な大型案件獲得を想定

➤ リーガルテックAI事業

保守的な見通しを継続

リーガルテックAI事業への新型コロナウイルス感染症拡大の影響

- **ディスカバリ案件への影響**：クロスボーダー案件は日本ではなく米国子会社にて意思決定されることが顕著に。既存のレビュー案件が大型化せず、進捗の停滞が発生
- **国内フォレンジック案件への影響**：国内上場会社における第三者委員会調査数が昨年と比較し、半数以下（上期：36件→17件）となっており、マーケットが一時的に縮小

リーガルテックAI事業の売上高、営業利益の減少

AIソリューション事業については大きな影響なし

リーガルテックAI事業下期戦略

■ 営業活動を米国市場へシフト

ベンダーを意思決定している米国子会社に現地で直接アプローチ

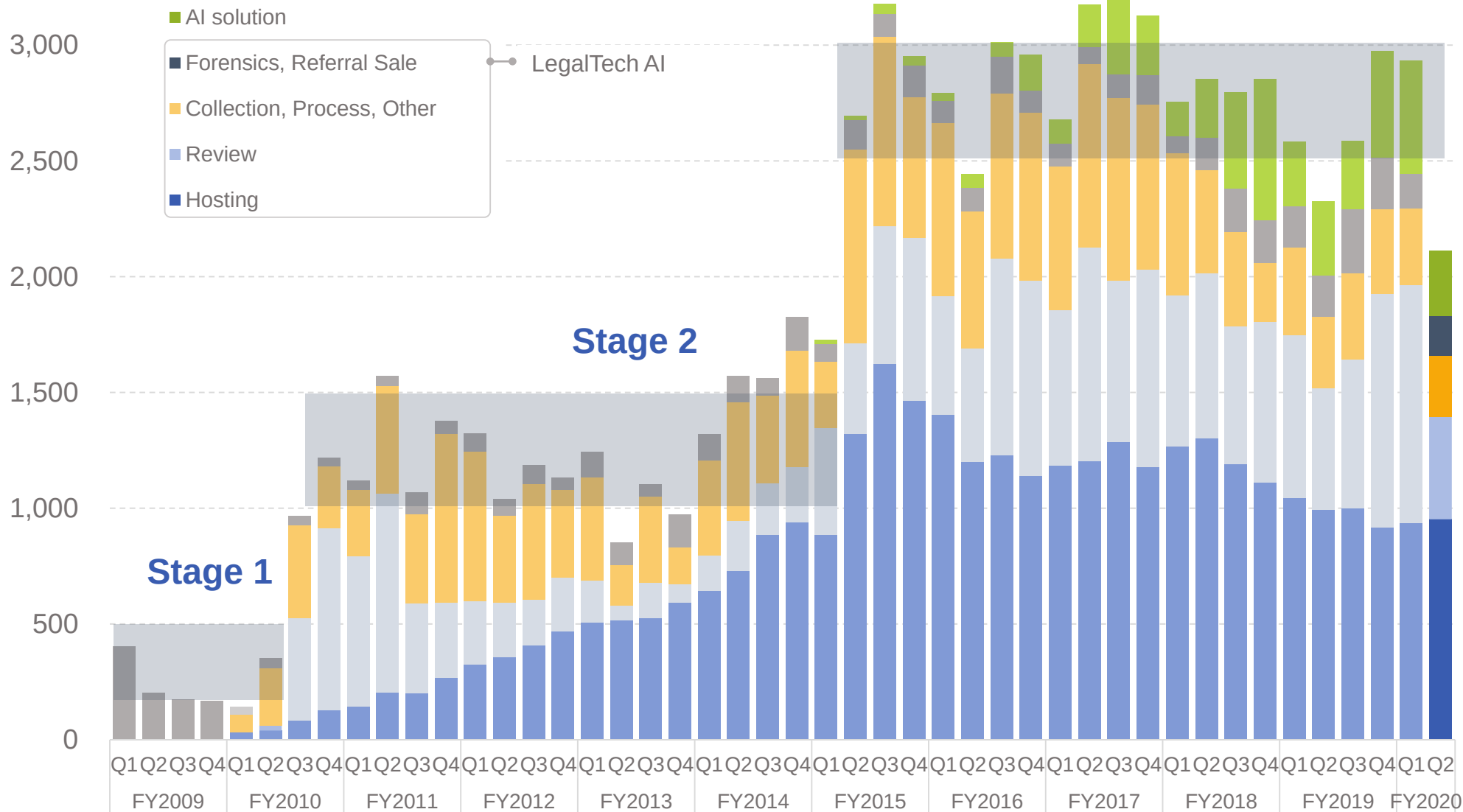
■ 「KIBIT Automator」の販売拡大を促進

KIBIT Automatorを活用したレビュー案件は従来のレビュー案件よりも高利益率

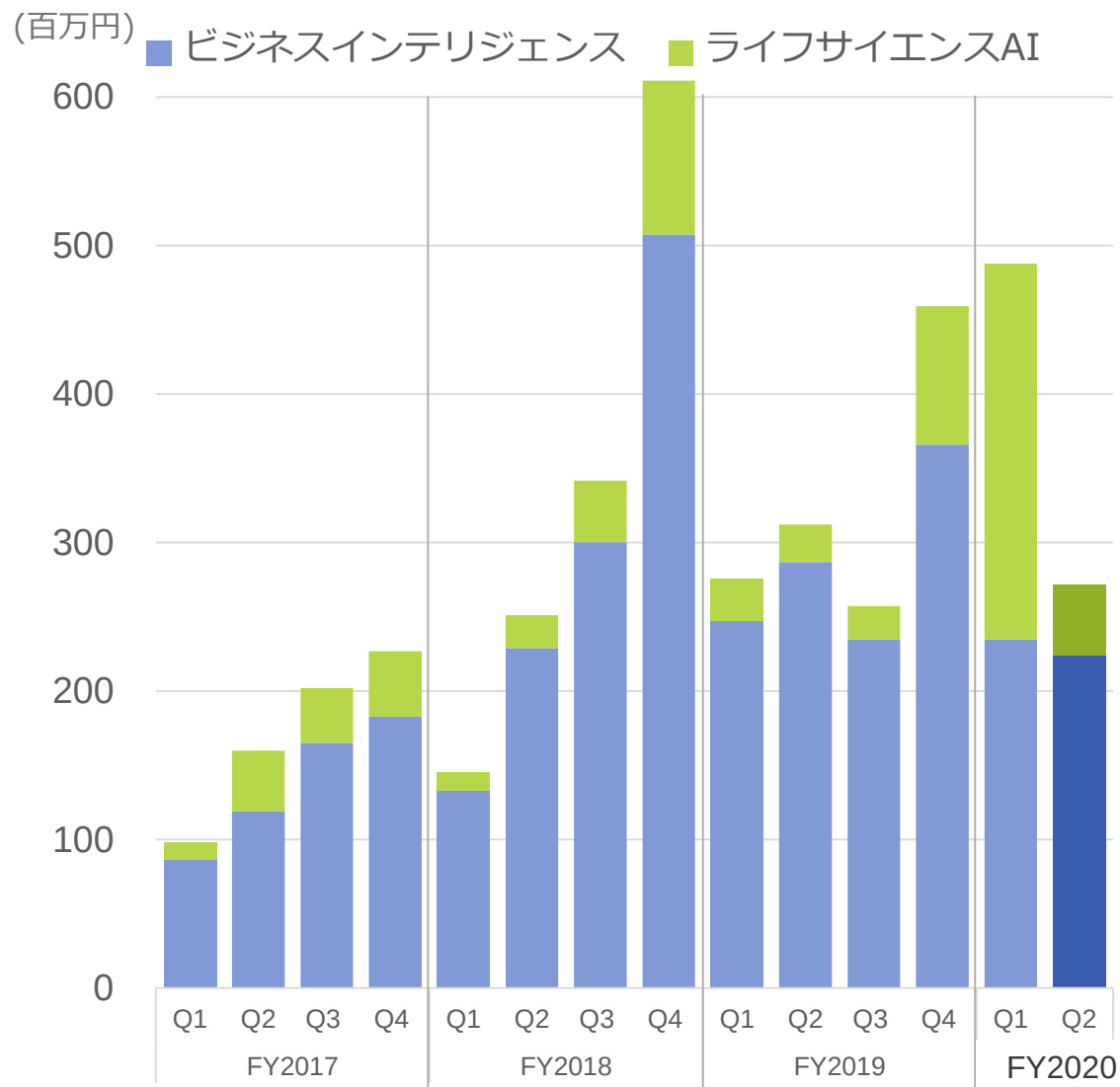
2021年3月期 第2四半期 連結業績概要

連結売上高の推移 サービスタイプ別

(百万円) Stage 3



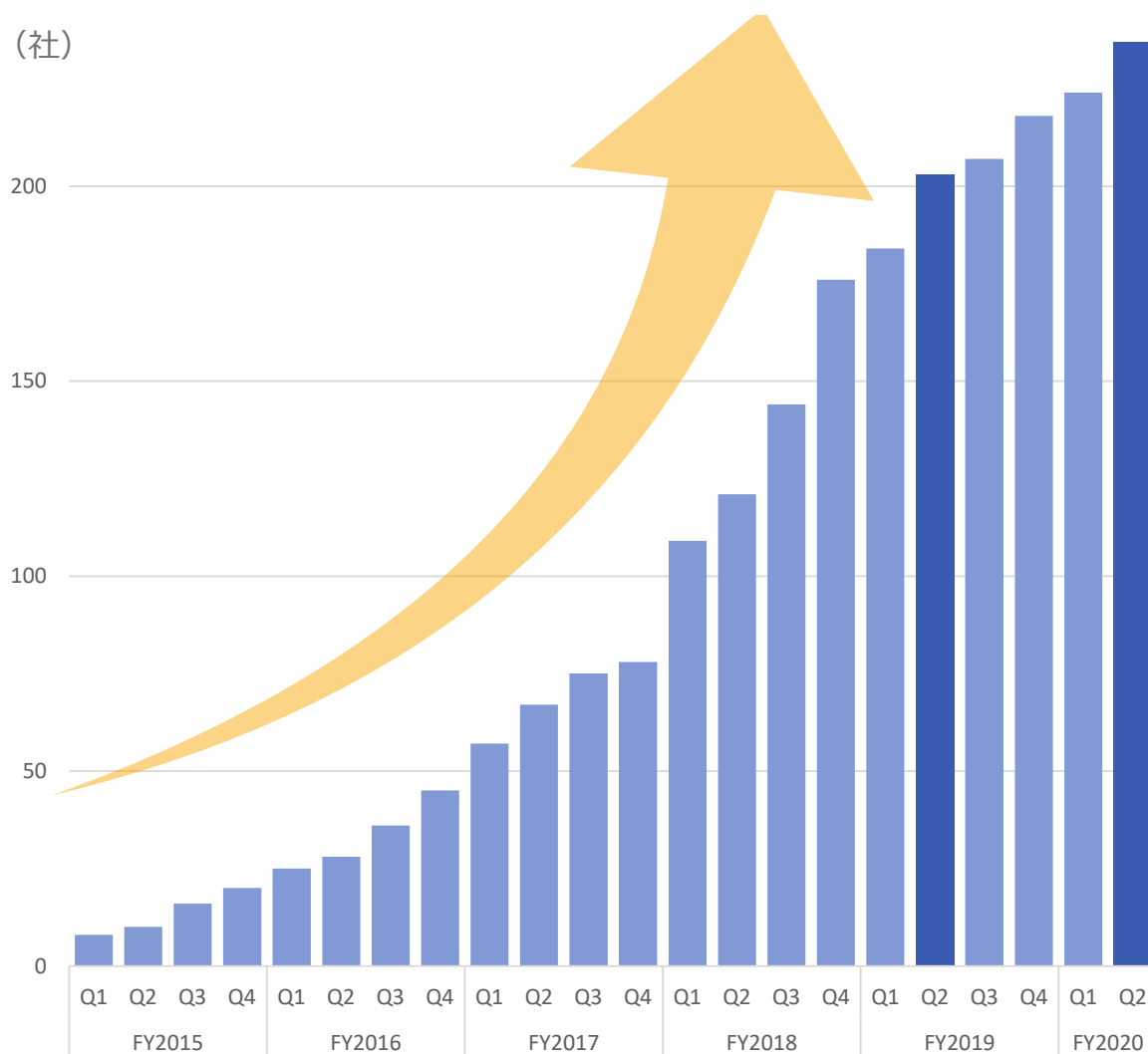
AIソリューション事業 分野別 売上高の推移(海外AIを除く)



ライフサイエンスAI、ビジネスインテリジェンス共に想定
の範囲内の水準で推移

下期に確度の高い大型案件が
複数あり

※2020年1月1日付にて、ヘルスケア分野をライフサイエンスAI分野に名称変更しております。

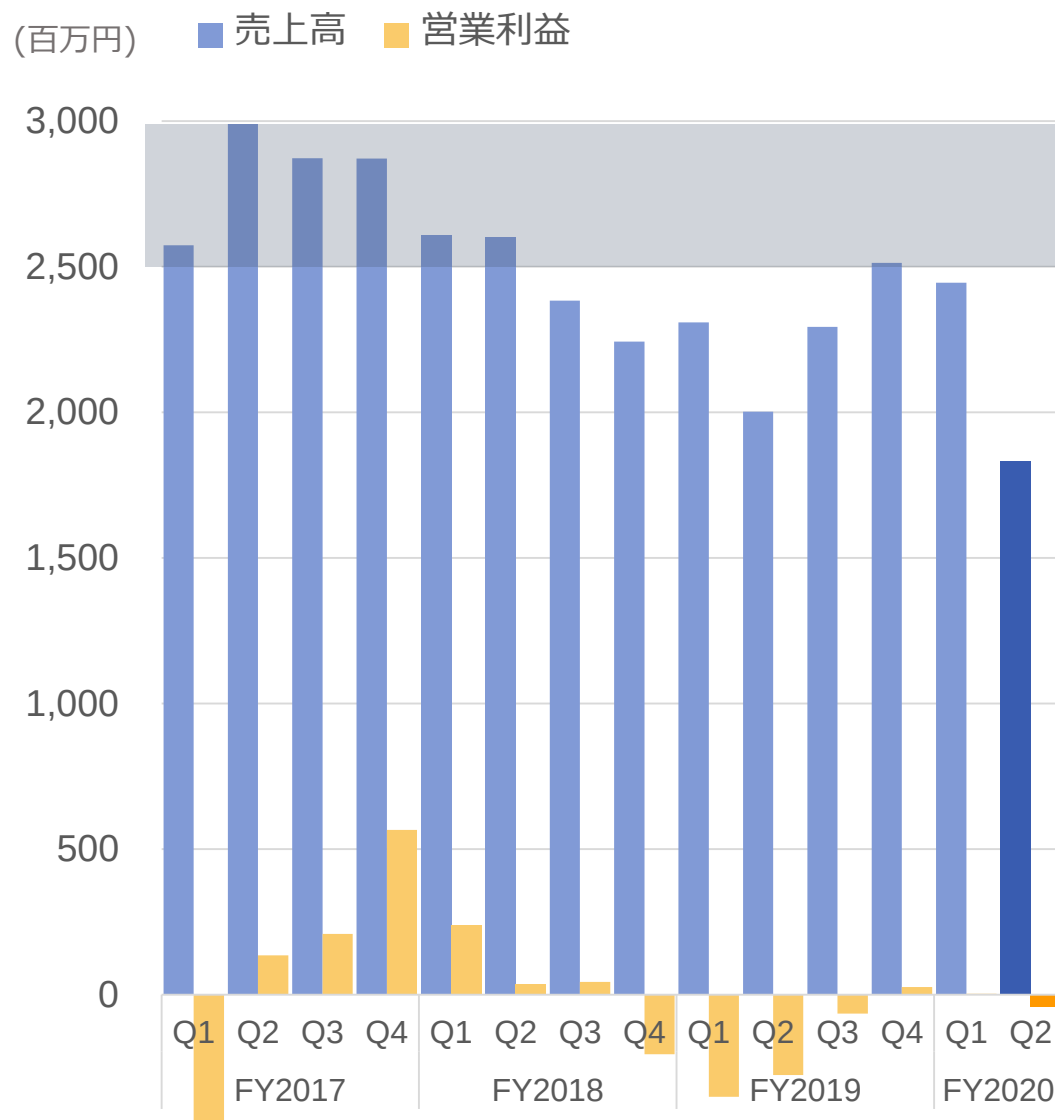


導入企業数(累積)

237社

前年同四半期比

1.2倍

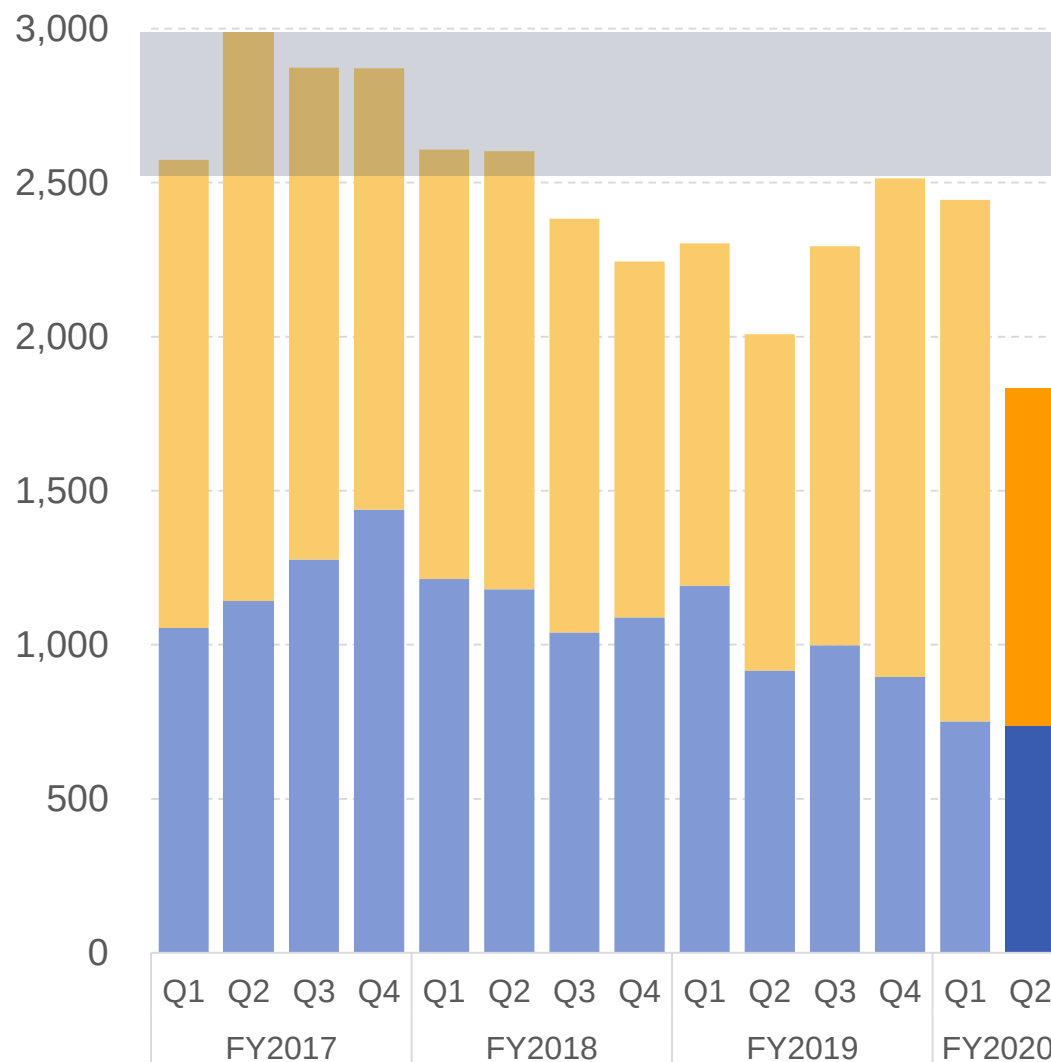


新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、国内において新規案件の受注が減少

今後は米国での営業活動、KIBIT Automatorの提案活動、企業営業に注力

(注) 事業別の実態をより適切に表すことを目的として、2019年3月期第1四半期においてセグメント間の共通経費の取り扱いを見直しました。上記グラフは当該方法に基づき作成しております。

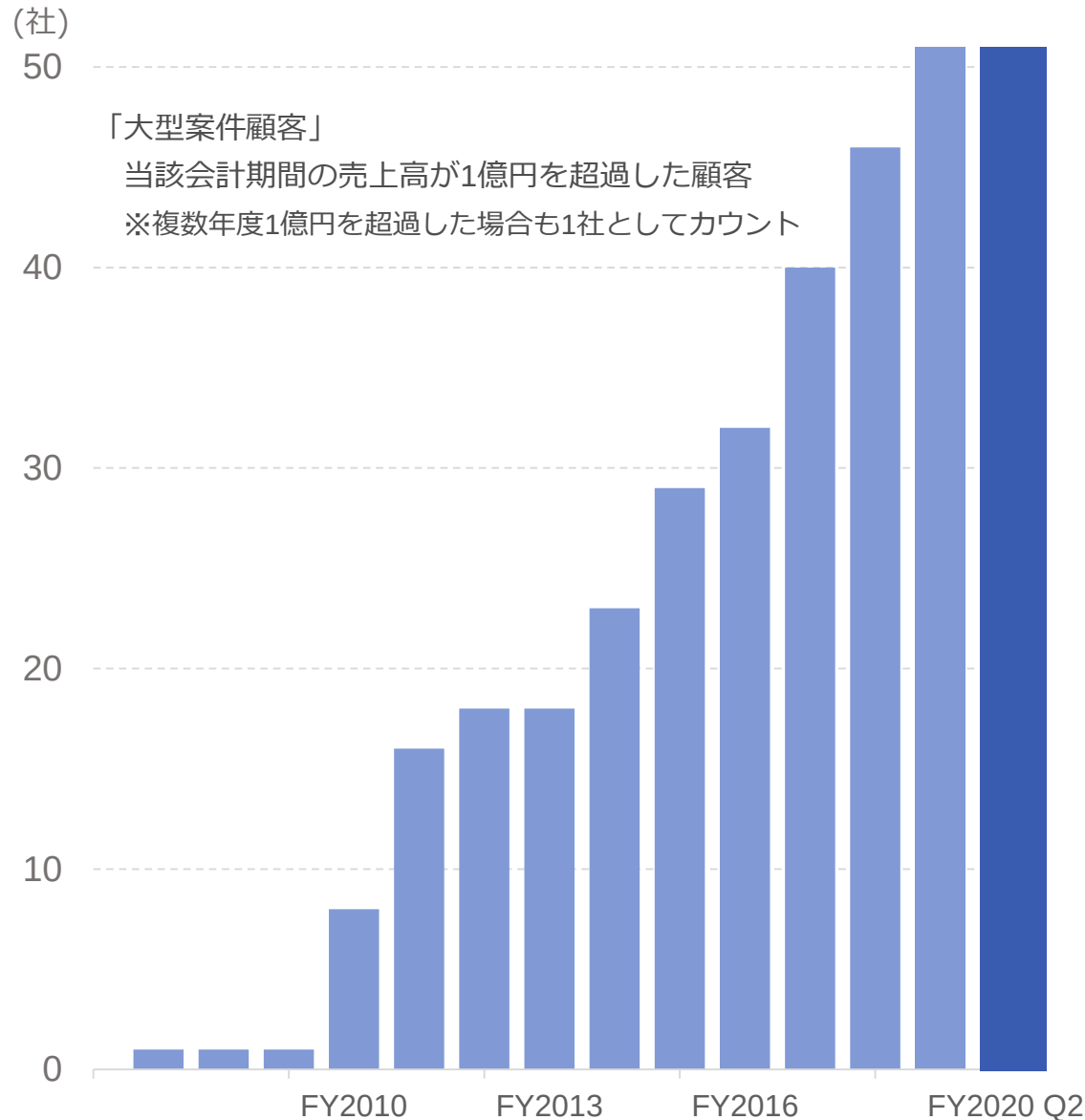
(百万円) ■ 日本・アジア ■ 米国・欧州など



国内においては新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ディスカバリの新規案件の受注が減少

米国においては大型案件終了

下期以降、米国市場に営業活動をシフト



**KIBIT Automatorを活用した
案件獲得に集中し、企業営業
強化によるパイプラインの積み
上げに注力**

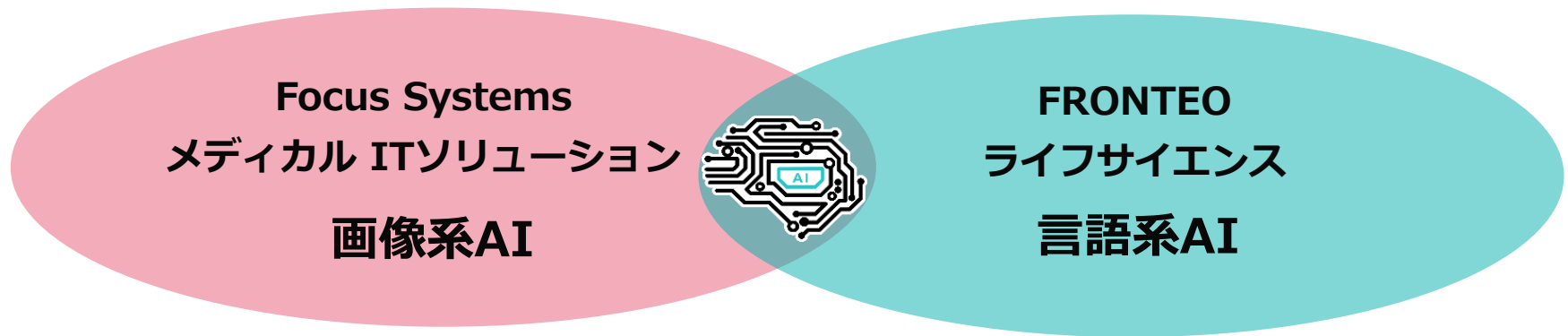
2021年3月期 第2四半期 連結貸借対照表

米国子会社での売掛金回収が進み、売掛金が減少し、現預金が増加

(単位：百万円)	FY2019				FY2020		FY2019比	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	増減	%
資産の部								
流動資産	6,531	5,893	4,215	4,708	4,616	4,296	▲412	▲9%
現預金	3,413	3,059	1,515	1,572	1,446	1,936	364	23%
受取手形及び売掛金	2,408	2,331	2,281	2,564	2,721	1,784	▲780	▲30%
貸倒引当金	▲94	▲114	▲139	▲106	▲115	▲104	2	▲2%
その他流動資産	803	617	558	678	564	679	1	0%
流動比率	123%	113%	69%	79%	76%	73%		
有形固定資産	709	694	695	648	1,463	1,341	693	107%
無形固定資産	4,452	4,408	4,414	4,309	4,208	4,068	▲241	▲6%
ソフトウェア	858	976	983	1,113	1,151	1,079	▲33	▲3%
のれん、顧客関連資産	3,160	3,091	3,066	2,974	2,868	2,740	▲233	▲8%
投資その他の資産	1,180	1,130	1,254	795	941	1,089	294	37%
固定比率	176%	201%	202%	189%	208%	216%		
資産合計	12,872	12,126	10,579	10,461	11,229	10,795	333	3%
負債・純資産の部								
流動負債	5,316	5,229	6,072	5,990	6,103	5,857	▲133	▲2%
固定負債	3,687	3,541	1,092	1,161	1,712	1,769	608	52%
純資産	3,867	3,356	3,414	3,310	3,413	3,169	▲141	▲4%
負債・純資産合計	12,872	12,126	10,579	10,461	11,229	10,795	333	3%

事業アップデート

フォーカスシステムズとの業務資本提携



ー 心血管疾患  へフォーカスした総合的な医療クラウドシステムの開発を目指す ー
(発症予測、治療法の革新、発症後の患者動向の予測)



将来的には対象疾患を広げ
QOL (クオリティ・オブ・ライフ：生活の質) 向上を図る

学研ホールディングスとの業務資本提携

Gakken
学研ホールディングス

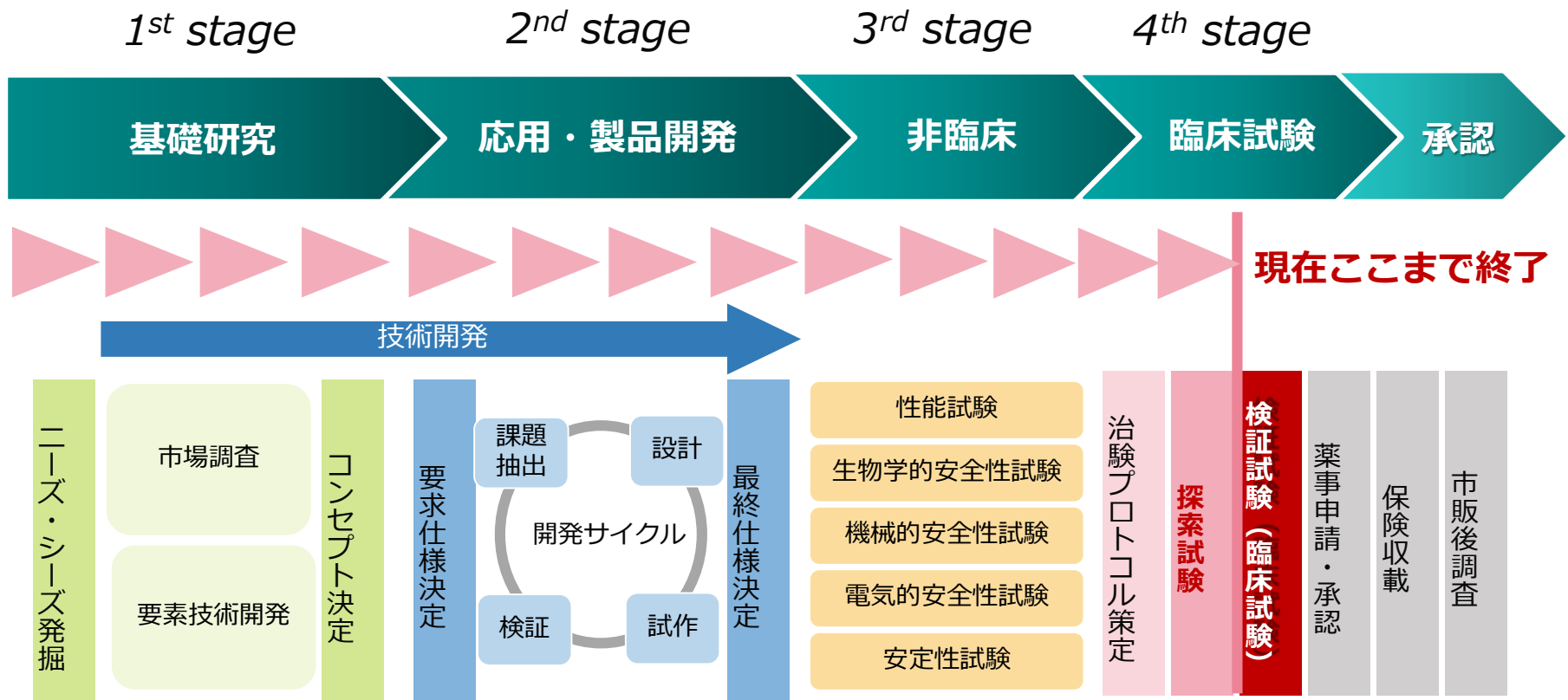


 **FRONTEO**



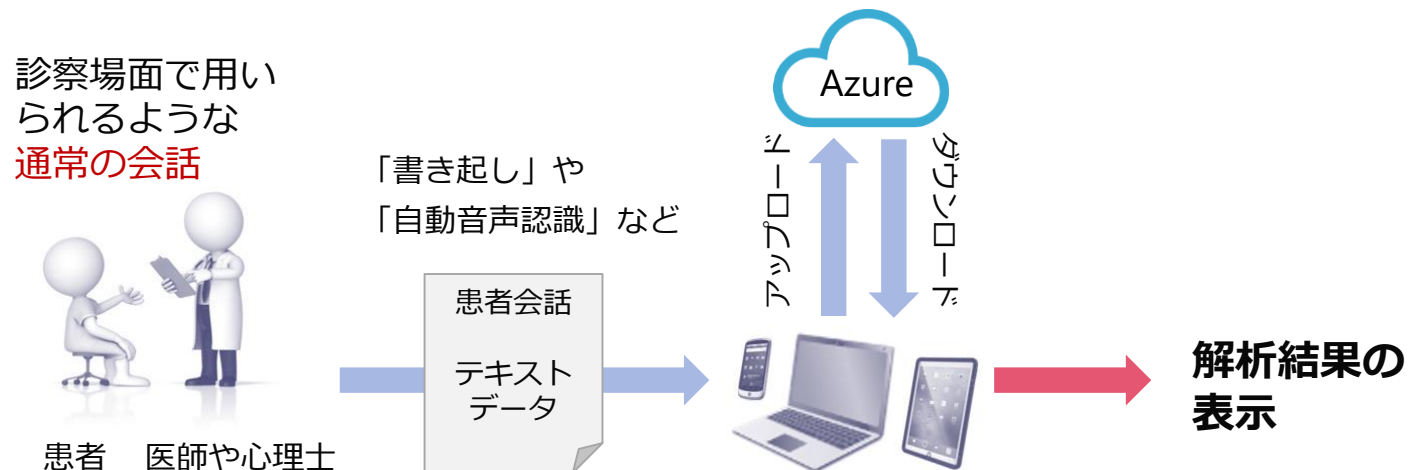
PMDA（医薬品医療機器総合機構）による対面助言準備面談が終了

【医療機器開発 4つのステージと3つのゲート】



日本マイクロソフトとの協業 ～ 医療のデジタルトランスフォーメーションを推進 ～

認知症診断支援AIシステムをクラウドプラットフォームMicrosoft Azure上に構築



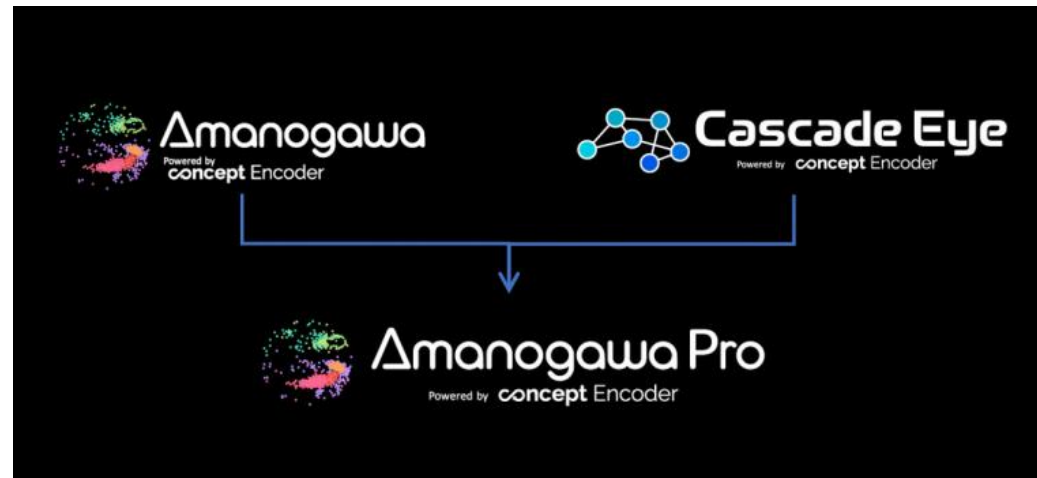
創薬支援AIシステムもクラウドプラットフォーム上に構築予定

【Azure上に構築することで】

- ・ 導入企業や研究機関へ初期導入・運用のコスト抑制メリットを提供
- ・ Azureを導入する日本国内の医療機関や製薬企業にAIシステムの共同販売が可能に

創薬支援AIシステム「Amanogawa Pro」をリリース

論文検索AI「Amanogawa」に疾患に関連する分子や遺伝子をパスウェイマップ状に可視化する創薬支援AI「Cascade Eye」を組み合わせた新製品



論文情報の中から、分子や遺伝子、さらに疾患についての情報を横断的かつ一元的に分析し、創薬研究のより一層の効率化とスピードアップを実現

Amanogawaアカデミックプラン

東京大学大学院と徳島大学がAmanogawaを導入

トヨタテクニカルディベロップメント協力「Patent Explorer Next」開発着手

トヨタテクニカルディベロップメント株式会社



特許調査の
知見・ノウハウ



FRONTEOのAIエンジン



concept Encoder

特許調査・分析システム「Patent Explorer」の
高度化に向けた開発を開始

Patent Explorer Nextの研究

Phase1 (2021年度夏製品化予定)

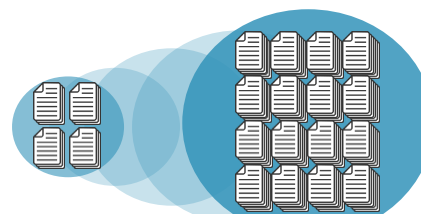
解析精度向上と操作性の改善

Phase2 (2021年度冬製品化予定)

特許動向調査における多角的な
分析と分析結果の可視化

Phase1

一度に解析できる
特許母集団の拡大

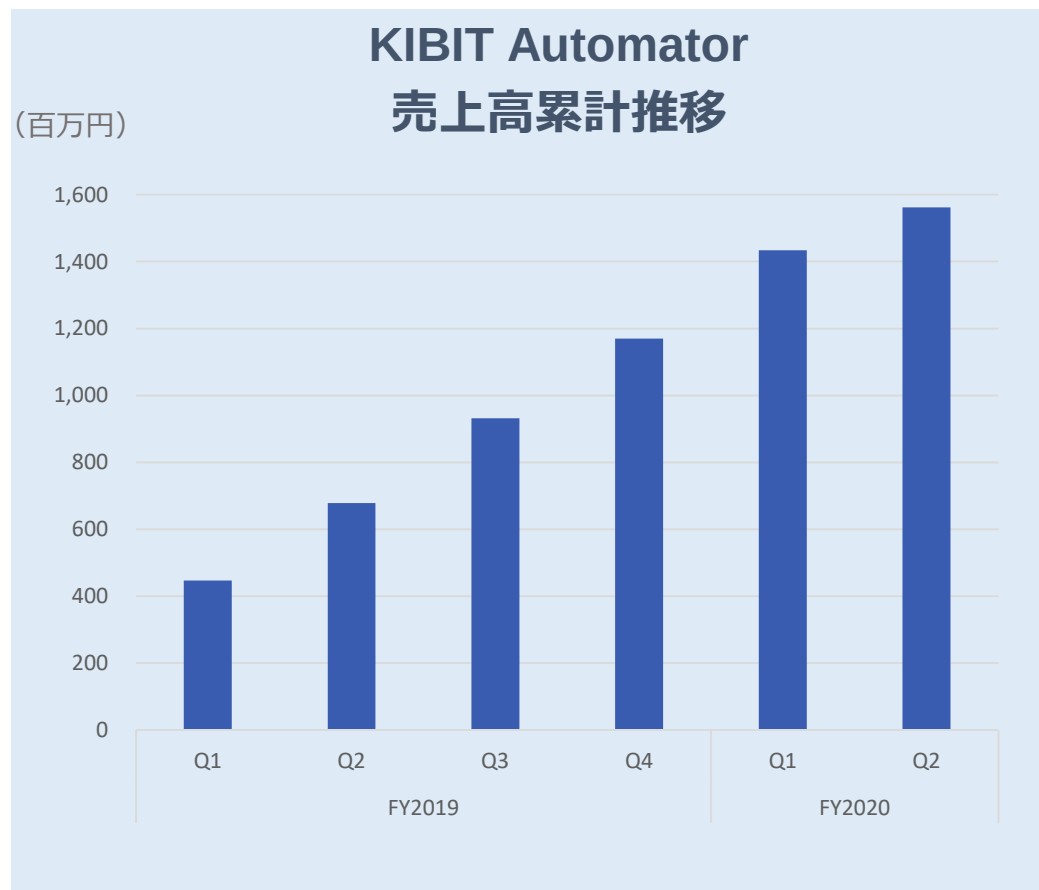


Phase2

多角的な分析と
解析結果の可視化



AIレビューツール「KIBIT Automator」の販売拡大に注力



■ 米国市場に注力

ディスカバリのベンダー選定が米国で行われるため、営業活動を米国にシフト

■ 企業営業の強化

ディスカバリ市場の商流が変化。法律事務所ではなく、企業がベンダーを選定するため、企業への直接アプローチを強化

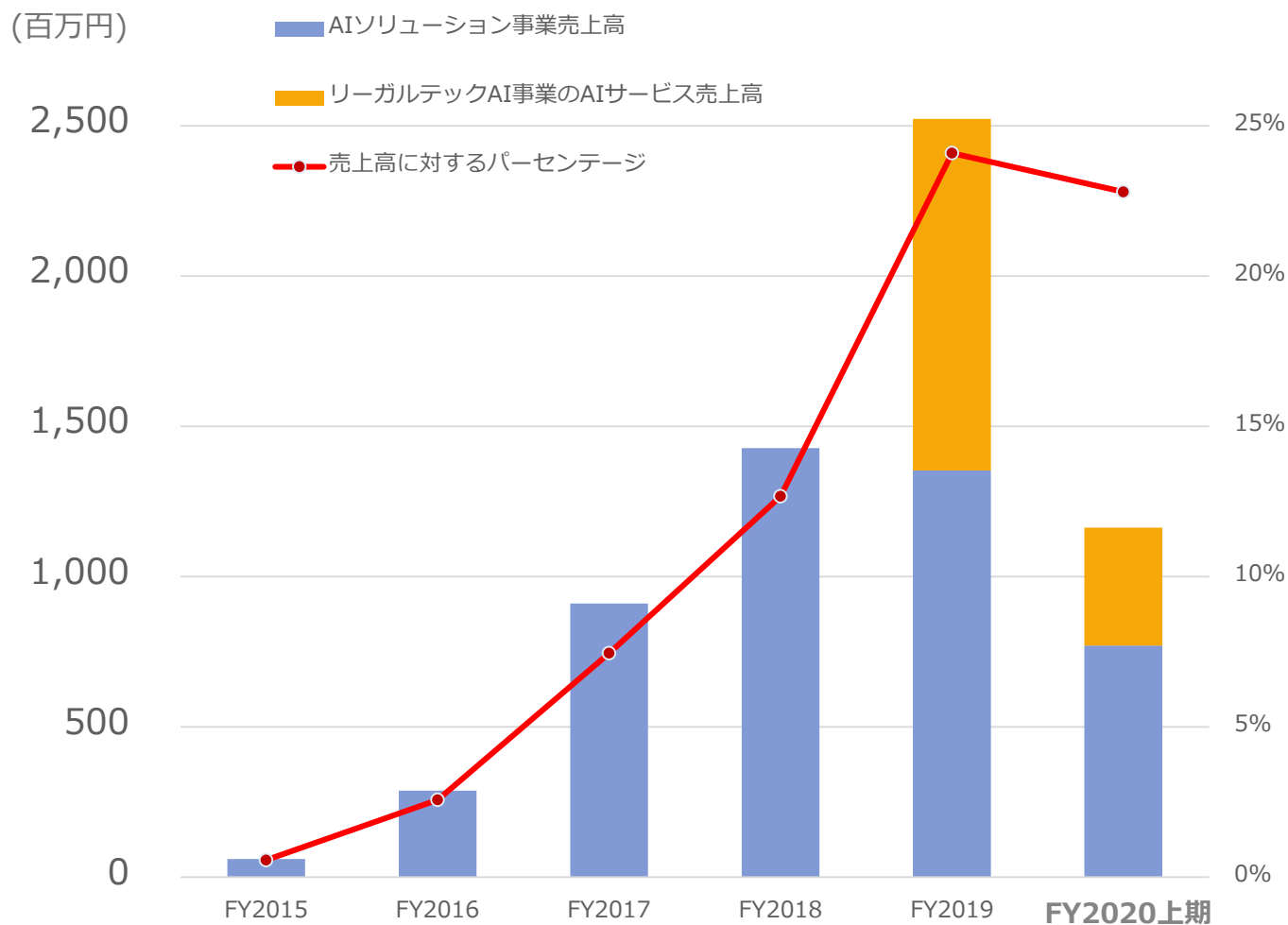
リーガルテックAI事業 成長戦略

AIレビューツール・企業営業・年間定額 により急速な安定成長

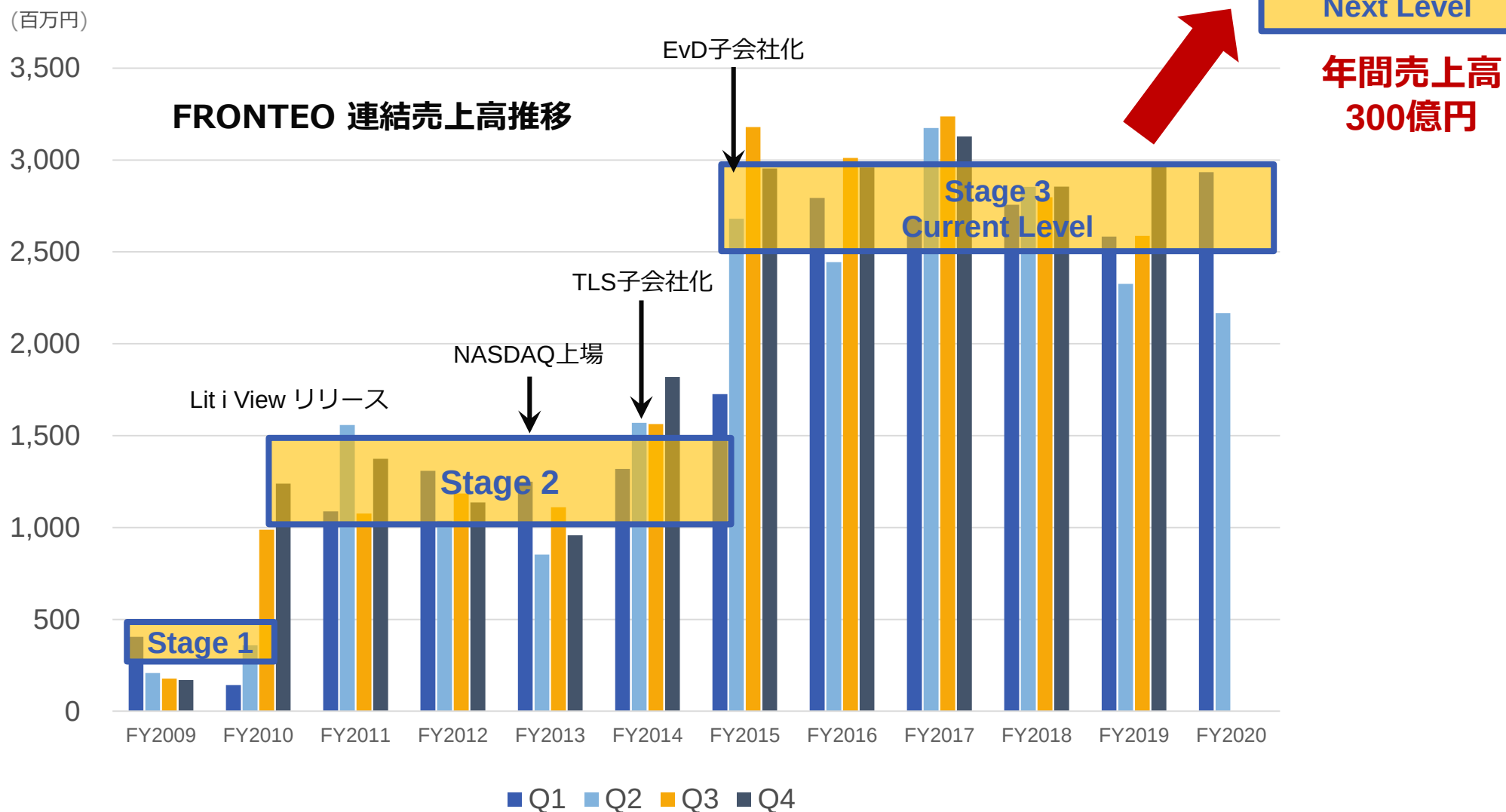


米国市場への明確なシフト

AIサービス売上高推移



**FY2020上期
順調な積み上げ**



Appendix 会社概要

会社名： 株式会社FRONTEO

証券コード： 東証マザーズ：2158

代表取締役： 守本正宏

設立年月日： 2003年8月8日

資本金： 2,568,651千円（2020年3月31日時点）

事業内容： 人工知能 を活用したデータ解析事業
（リーガルテックAI・ビジネスインテリジェンス・ライフサイエンスAI）

主要顧客： 企業・医療機関・官公庁（警察・防衛省・海上保安庁・金融庁等）・法律事務所

導入ユーザー／パートナー 一覧

※2020年11月9日時点

Intelligence Cloud
導入ユーザー

Panasonic

FURUNO

TPK
touching tomorrow, today

EIZO

SMBC 三井住友銀行

Knowledge Probe
導入ユーザー

LITALICO
リタリコ

あしたを元気に
ソラスト

横浜銀行

東京海上日動

リそな銀行

三井住友DSアセットマネジメント

Daiichi-Sankyo

いっしょに、明日のこと。
Share the Future
SMBC日興証券

CHUGAI 中外製薬
Roche ロシュ グループ

Orico

SHISEIDO

EAファーマ

大日本住友製薬

Eat Well, Live Well.
Ajinomoto
AJIINOMOTO

Patent Explorer
導入ユーザー

DENSO
Crafting the Core

kuraray

東ソー株式会社
TOSOH

TOYOBO
Ideas & Chemistry

RIVERFIELD

Soken

TORAY

NOHMI

kikkoman
おいしい記憶をつくりたい。

YOKOGAWA

サッポロ一番

自然と健康も科学する
漢方のツムラ

今日を愛する。
LION

Communication Meter
導入ユーザー

TOYO TIRES

INNOLUX

RACE

JDI

Find Answer
導入ユーザー

AEON

KIBIT - Connect
導入ユーザー

MUFG 三菱UFJ銀行

SHOWA DENKO

横浜銀行

Kibiro for Biz
導入ユーザー

野村證券

ASPECT
NIHON ASPECT CORE INC.

共同開発パートナー

TTDC

AGC
Your Dreams, Our Challenge

KIBIT
マーケティングパートナー

SCSK

TIS
TIS INTEC Group

SiC

MKI 三井情報株式会社

AGREX
TIS INTEC Group

D»Standing

アイネス

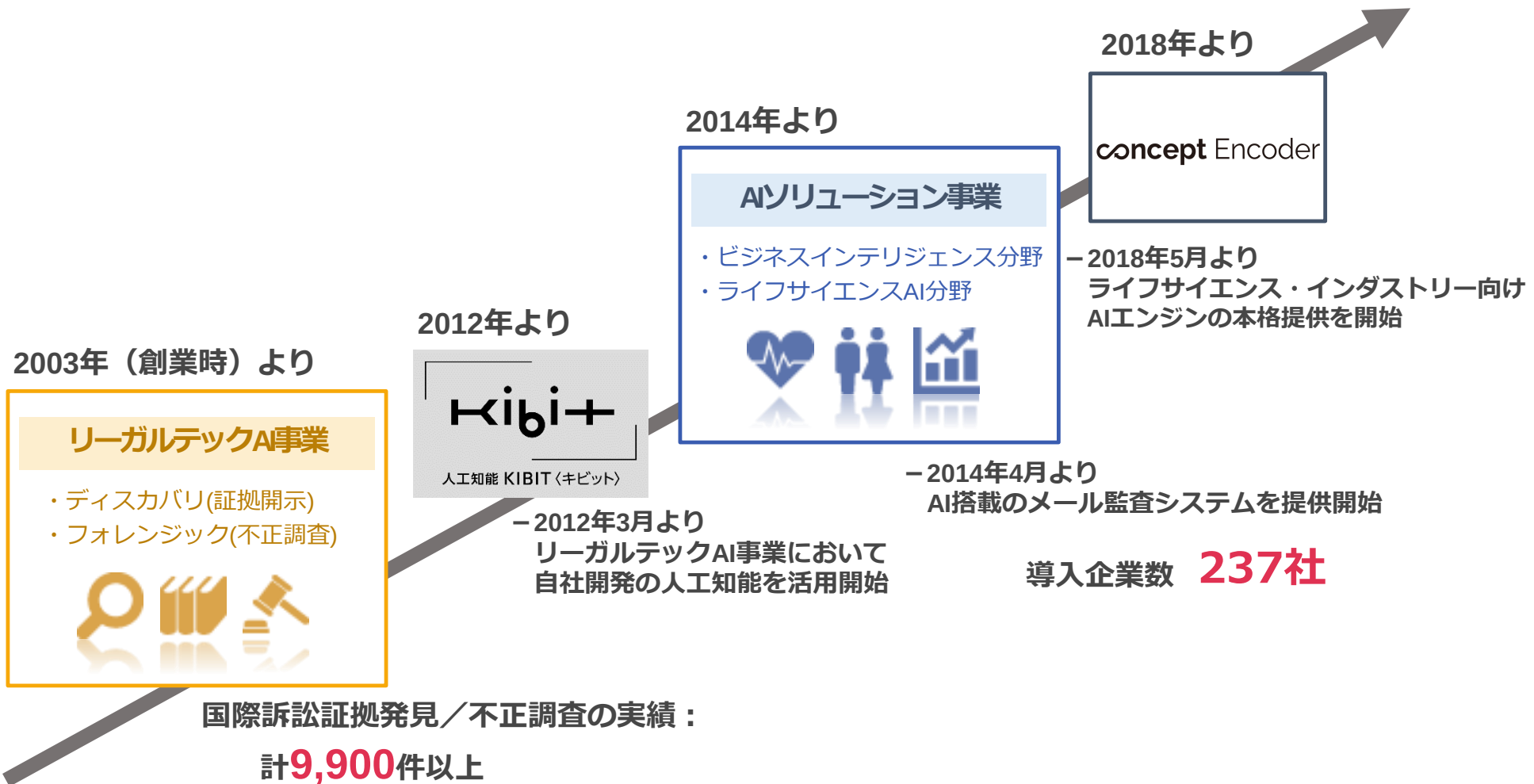
KIBIT
ビジネスパートナー

AI sales

AI Infinity

MYTHOS

事業領域 ▶ 収益基盤であるリーガルテックAI事業とAIソリューション事業を展開



～音声認識や自動翻訳の先に目指すもの～



音声認識



自動翻訳

子供でも会話も読書もできるので、安易に考えがち



しかし、
実際には背景や、人間関係、物理現象など、
かなり複雑な要素を複合的に判断している高度な知的作業

～音声認識や自動翻訳の先に目指すもの～



法律、医療、製造、金融などの分野における
専門知識と経験に基づいた
高度な理解・判断・行動に寄与すること

従来の手法（キーワード検索や辞書）では見分けがつかない、
微妙なニュアンスの違いを見分けなければならない

訴訟での証拠文書レビュー

普通のメール

今日の夜、どうですか？

送信日時： 2014/07/07 (月) 15:00
宛先： ■■■さん
CC：

■■■さん

お疲れ様です。■■■です。

今日の夜、予定ありますか？
久々に飲みに行けなかつたかと思ひまして。
駅前の居酒屋に8時くらいでどうですか？

■■■

不正示唆メール

今日の夜、どうですか？

送信日時： 2014/08/08 (金) 14:30
宛先： ■■■さん
CC：

■■■さん

お世話になってます。■■■の■■■です。

最近はいかがですか？
もし良ければ、今日にでも飲みに行きませんか？
前回から時間も経っていますし、またお話できればと思います。
いい個室の居酒屋を見つけたので、そこにしましょう。
■■■さんも誘った方がいいですかね。

■■■

認知症診断

テキスト2（抜粋）

食あたり、だから多分、
お昼ご飯が良くなかつた、ね、
弁当が、つらかつた。
うん、他の人は、あのー、
弁当だからさ。
自分家から持ってきたやつ。
ううん、火曜日は一応、
全部出勤つてか
5時半まで働いたけど、
次の日はもう、
それどこじゃなかつたら
休んだ。.....

判定：可能性小

テキスト1（抜粋）

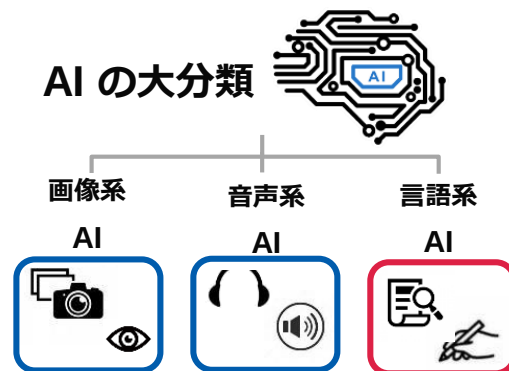
はい。やっぱり
体がちょっとだるいん、です。
ええ。これがなかなか治らない。
ええ。もう結構前ですよね。
ええ、はい。いや、全体に
もうなんかこう、ええ。
疲れたって感じて
何かさうゆう感じなのね。
どこも行きたくないとか。
ええ。でも
歩かないと足が悪くなる.....

判定：可能性大

FRONTEOの人工知能 KIBITとConcept Encoder

言語系AI

FRONTEOのAIは
自然言語処理に特化したAI



microAI

Kibi+
&
concept Encoder

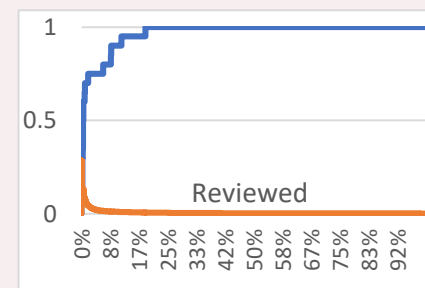
microAIの特徴



少量の教師データ



少量のコンピューターパワー



高い精度

Kibi+

KIBI (機微) : 人間の微妙な心の動き
BIT : 情報量の最小単位

自然言語に特化

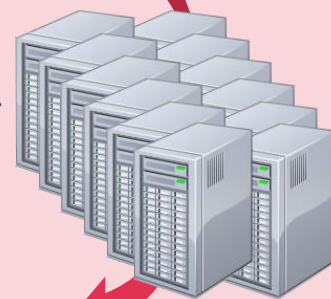
少量の教師データでOK

設備負担が僅か

従来の機械学習

教師データ

大量の教師データ
とそれを解析する
大規模の設備
が必要



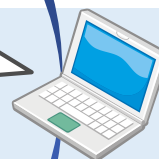
Output

KIBIT
Landscaping

少量でOK

教師データ

教師データと、処理に必要な
リソースが少なくて済む



人間の**4,000倍**の速さで
文章を理解し仕分けをする

実用化しやすいAI

Output

特許取得済

ライフサイエンス領域向けに開発した新規人工知能エンジン

特許番号: 特許第**6346367**号
登録日: **2018/06/01**

concept Encoder

テキスト情報（文章）をベクトル化

テキスト情報×数値を共解析



医学論文 電子カルテ 患者データ 研究データ



オミックス情報 バイタル情報 臨床検査値

テキストデータ

数値データ

自然言語に強み

言語情報は非常に複雑で、特に**日本語**は世界的にも難しい言語とされている。



**複雑で高度な文字情報である「メディカルデータ」を
創薬支援・医療事業支援、新規医療機器の開発に！**

ライフサイエンスAI分野

2つの事業領域

Digital Therapeutics & Mobile Health - AIデバイス事業 -

AIによる診療・診断・看護・介護支援



業務支援機器： 民生機器（ライセンス）

病院向け

消費者向け

医療機器： 保険収載

（マイルストーン型収益モデル含む）

Drug Discovery & Business Excellence - AI 創薬支援事業 -

AIによる創薬・開発・販売推進



創薬業務支援： ライセンス

事業開発支援： マーケティング、知財評価

AI創薬支援： 創薬ターゲット創出受託

（マイルストーン型収益モデル含む）

Mobile



認知症



統合失調症



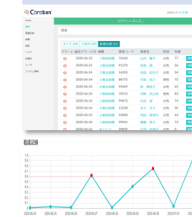
Desk top

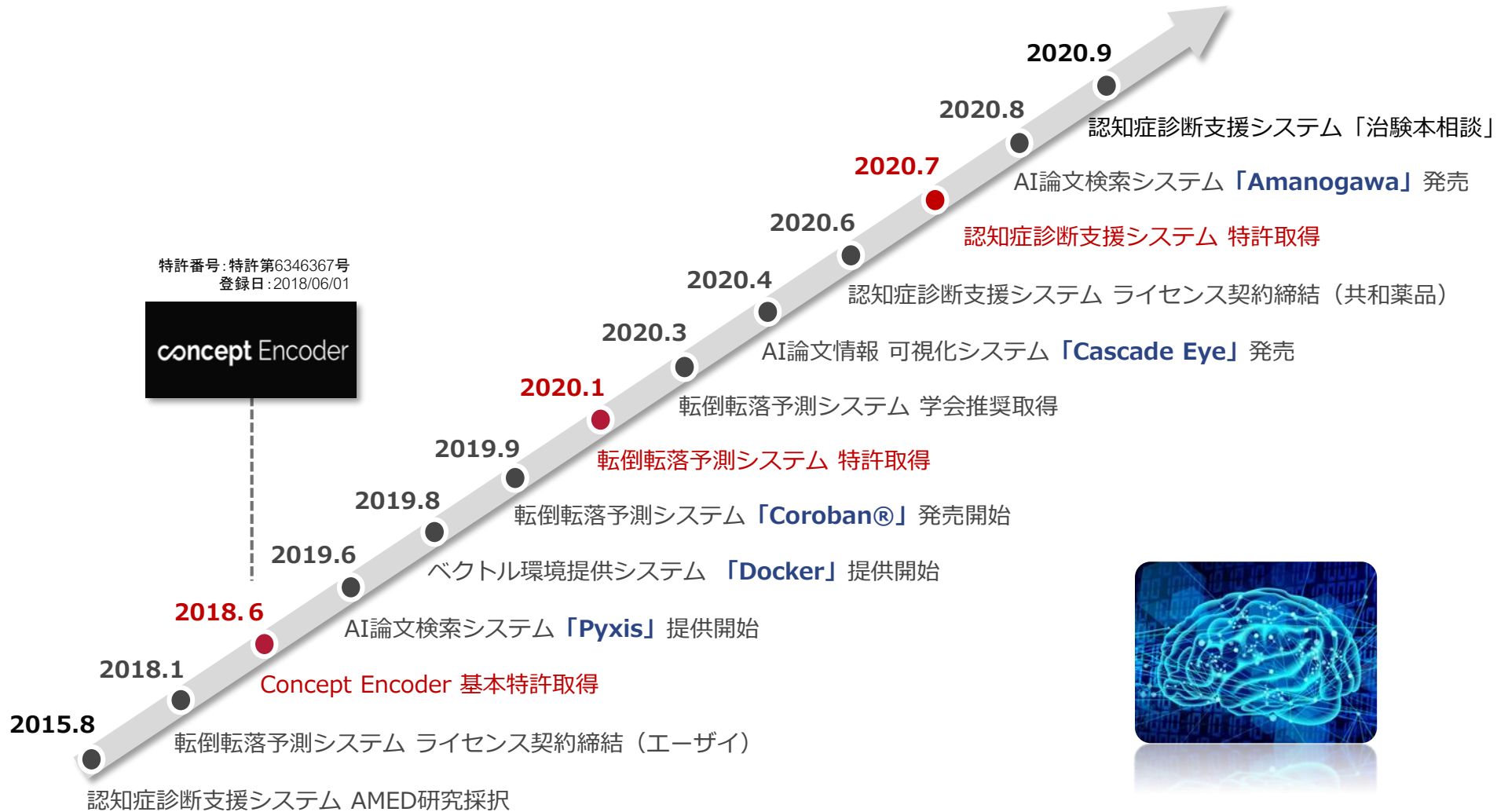


Amanogawa



Coroban





認知症診断支援AIシステム



2019年 AMED 修了：評価点8点
特許査定取得済み

早期にAI医療機器認定を目指す

共同研究・開発

慶応義塾大学病院

共和薬品工業（株）



転倒転落予測システム



共同研究・開発

NTT東日本関東病院

藤田医科大学

エーザイ（株）

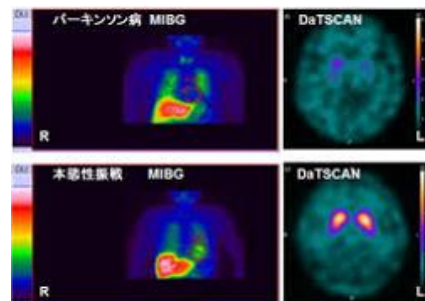


パーキンソン病診断

共同研究

武田薬品工業（株）

岩手医科大学



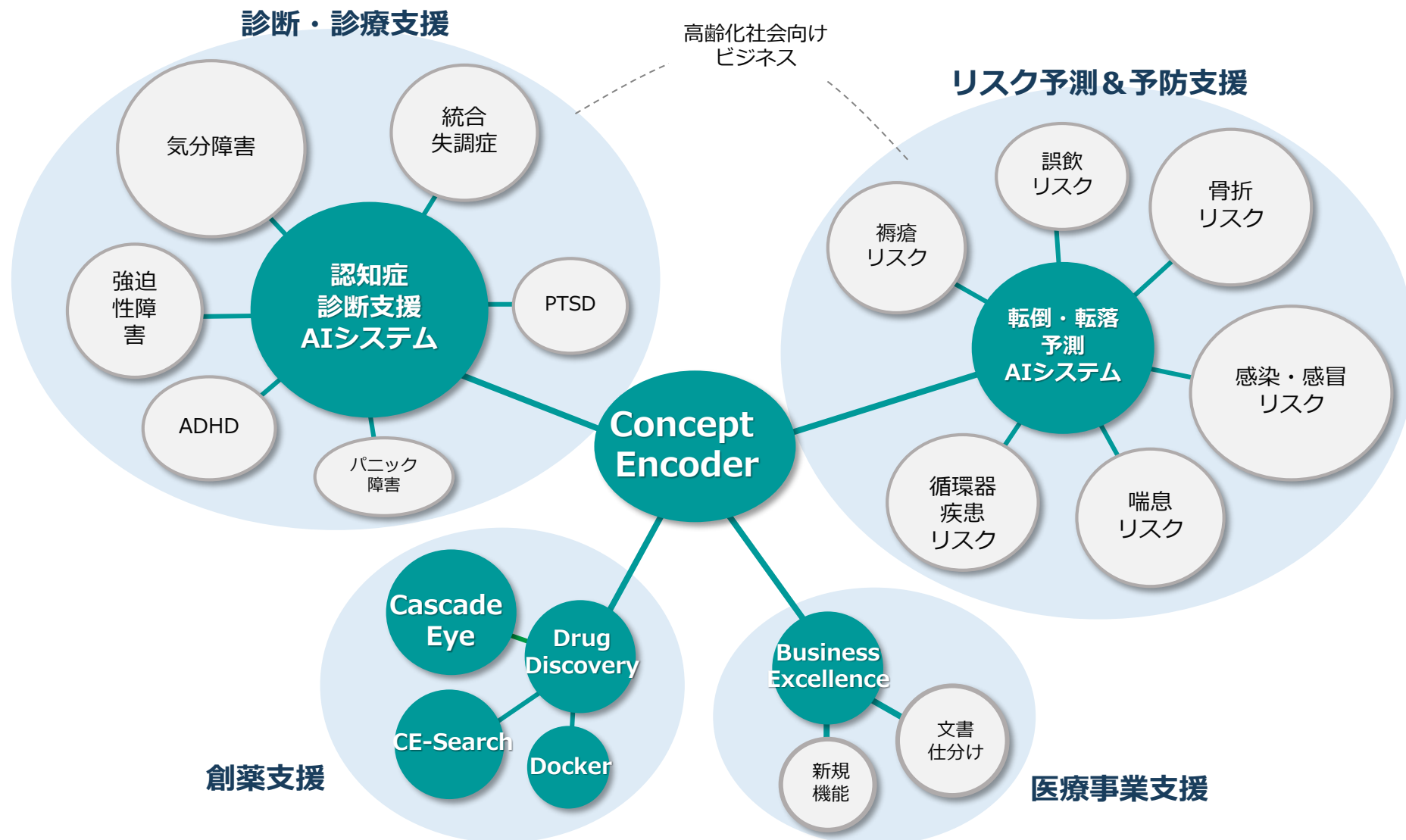
AI創薬

導入企業

武田薬品工業（株）

中外製薬（株）







■ システムの特徴

- ・ 5分から10分程度の **患者との自然な会話** で解析が可能
- ・ **一般医** でも使用可能
- ・ 今までの問診と比較して **精神的、身体的負担が少ない**
- ・ 定期的に検査を行うことができるため **早期発見、重症化抑制** に有効

■ 参考情報

要素	数値	備考
国内の認知症患者数	600万人※1	後期高齢者数 約1,800万人※2
世界の認知症患者数	5,000万人※3	
診療報酬参考値	—	D285 1. 操作が容易なもの イ. 簡易なもの 80点・・・MMSE ロ. その他のもの 80点・・・CDR 2. 操作が複雑なもの 280点 3. 操作と処理が極めて複雑なもの 450点・・・ロジカルメモリー

※1 厚生労働省「認知症の人の将来推計について」より <https://www.mhlw.go.jp/content/000524702.pdf>

※2 内閣府「高齢社会白書」より <https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/index-w.html>

※3 World Health Organizationのサイト「Dementia」より <https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/dementia>

言語系AIを用いた医療機器として、**世界に先駆け** 日本での早期承認取得を目指す

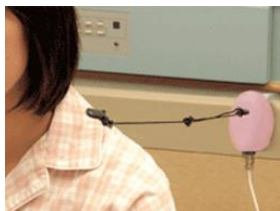
物理センサーの限界と言語系AIの有効性



物理センサーの精度を上げても
転倒の数秒前に判明、対応不可。



センサーマット



体動センサー



安全な履物



看護記録を言語系AIが解析
数日前に予兆発見。対応可能。



看護記録

concept Encoder

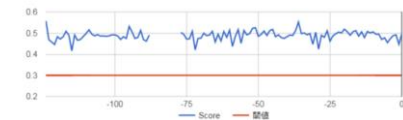
看護記録取り込み自動で分析
リスク因子を含む単語から予兆を発見



日々の観察

スコア経時変化図

入院日: 2014/10/31 退院日: 2014/12/06
入院日: 2014/12/17 退院日: ---

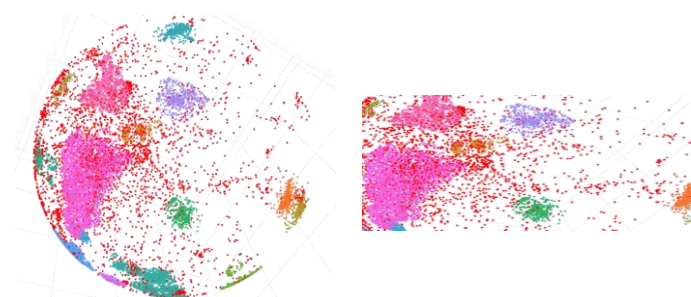
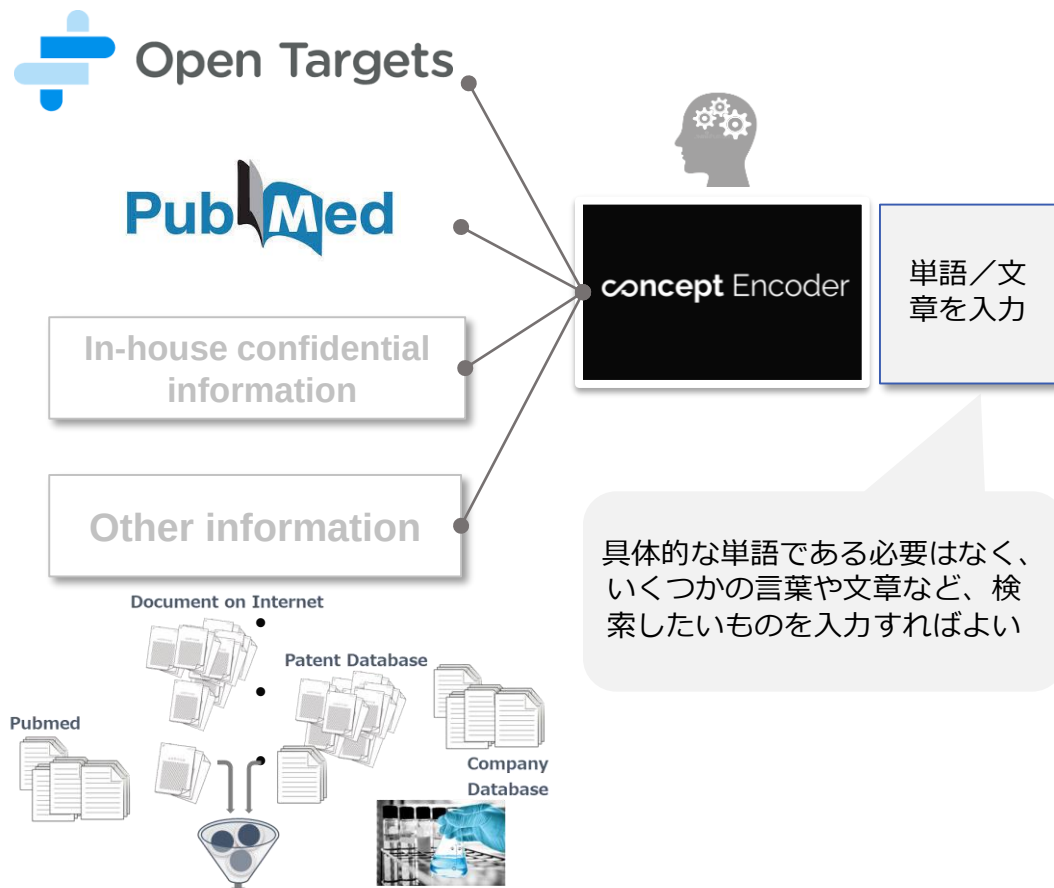


容態変化リスク (確率)

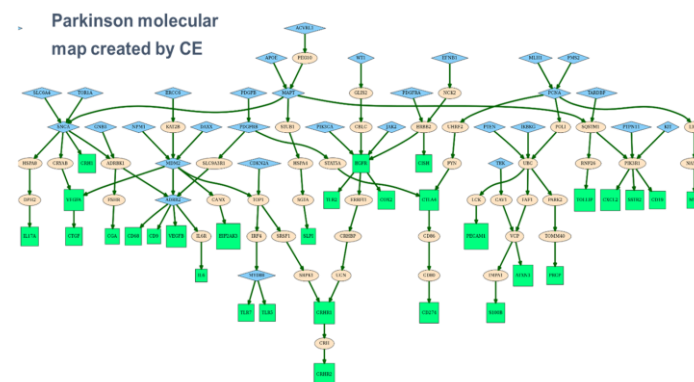
テキスト情報

インプット

アウトプット例

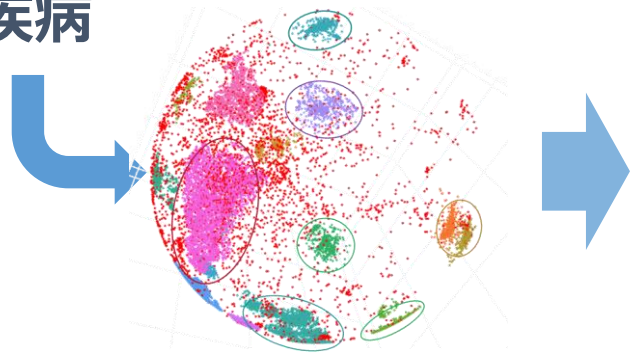


遺伝子、分子、疾病の間にある、
隠れた関連性を見つけ出す



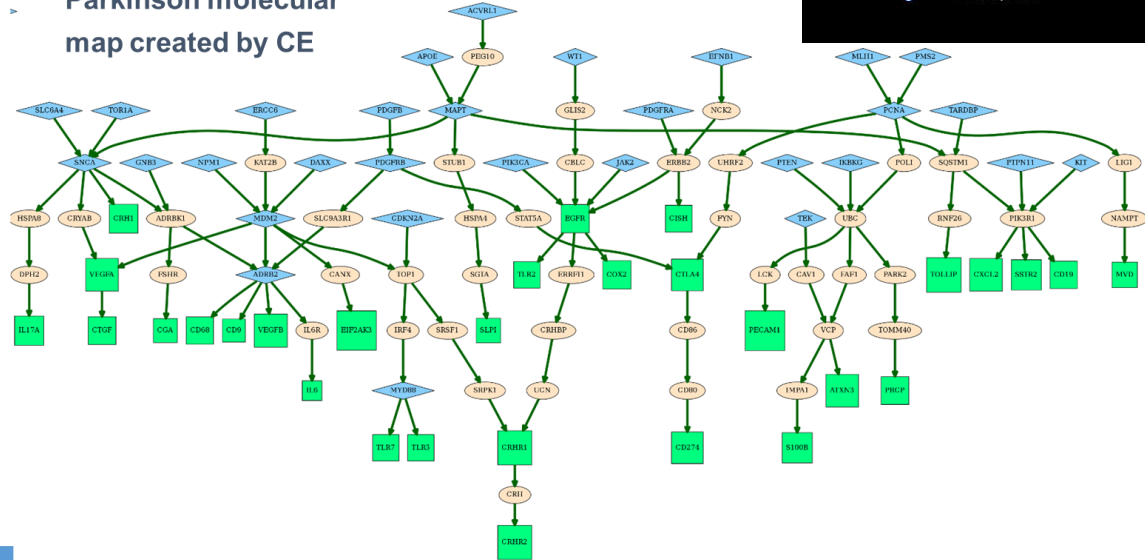
Concept Encoderで見つけた関連性に
基いて分子マップを構築

疾病 約10分



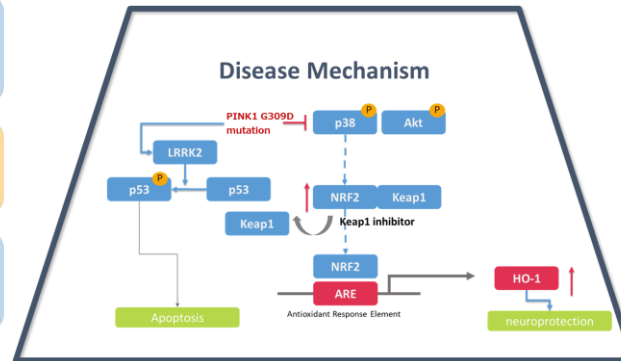
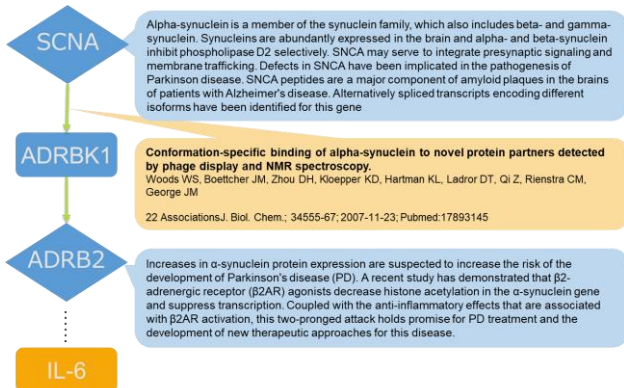
Concept encoderにより
可視化、クラスター化された情報

Parkinson molecular map created by CE



◆ : genes predicted as the causality of the disease
■ : genes predicted as the responsiveness of the disease

関連論文を要約

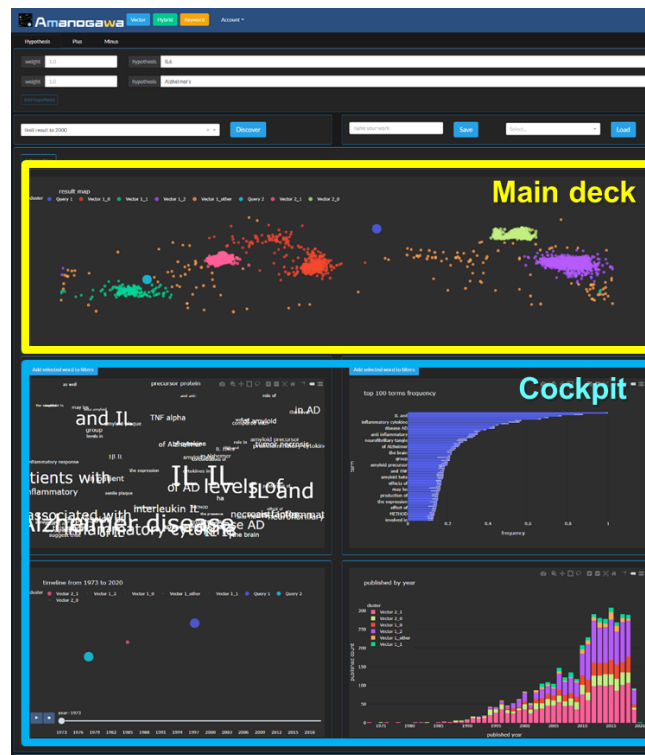




特徴

1. キーワードでは
見つけることができない
関連する文献を検索
2. ベクトルの足し算、引き算
を使うアナロジー検索
3. 単語、文献の類似性を
数値で確認

直感的、視覚的で
クリエイティブな文献
検索を可能にします



入力層

- Vector Search
- Keyword Search
- Hybrid Search

メイン
デッキ

- Space Map

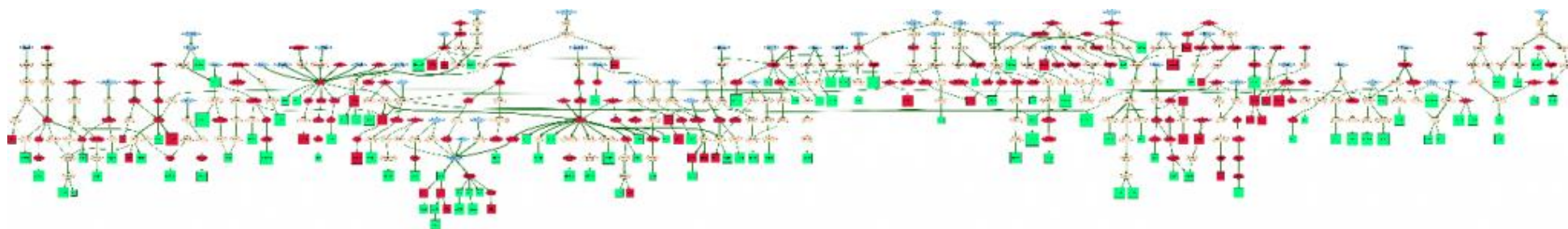
コック
ピット

- Word MAP
- Word Frequency
- Chronological Map
- Chronological Chart

Confidential

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の研究で 治療薬候補の選定に有効なメカニズムの解析に成功 約450種の候補化合物をリストアップ

下図： **新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパスウェイマップ**。青は原因性遺伝子、緑は応答性遺伝子、ベージュはそれらをつなぐ分子を表す。赤で示された遺伝子や分子は、既存の薬やツール化合物のターゲットになっている。



今回の研究成果は、今後のウイルスパンデミック発生時に、より短期間で治療薬の候補選定を行うのに有用なものと考えており、国家的緊急時におけるリスクマネジメント体制の基盤となる技術であると考えられる。

ビジネスインテリジェンス分野

アプリケーション

ソリューション

活用シーン

Kibi+ Knowledge Probe

ビジネスデータ分析

- 論文検索
- 景表法抵触チェック
- VoCテキスト仕分け
- （応用・開発）法務契約書チェック 等

Kibi+ Communication Meter

メール／チャット監視

- カルテル検知
- 情報漏洩検知
- 贈収賄・FCPA検知
- クレーム予兆検知

Kibi+ Patent Explorer

特許調査・分析

- 特許調査・分析
 - 無効資料調査
 - 先行技術調査
 - 技術動向調査

Kibi+ Find Answer

FAQ

- 社内問い合わせ対応業務
 - 研究開発
 - 法務部
 - 品質管理
 - 経理財務 等

KIBITの第二世代「KIBIT G2」により活用範囲をさらに拡大

Kibi+ G2

Smart

Scalability

Speed

受託開発・API連携による顧客システム・他社システムへの連携を強化

ソリューション／アプリケーション

Knowledge Probe

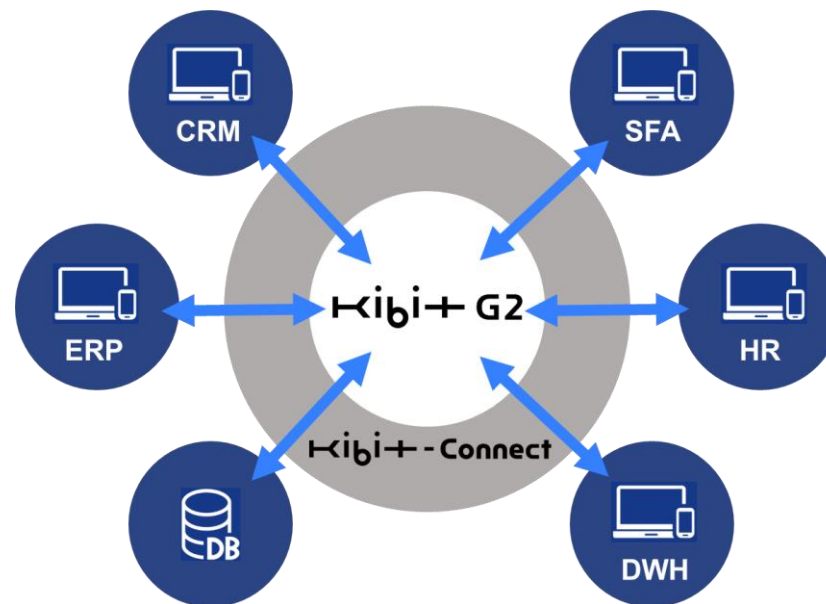
Patent Explorer

Communication Meter

Find Answer

受託開発 Kibi+ - Connect

API連携



金融庁 FinTech 実証実験ハブ KIBITの活用で業務生産性が大幅に向上

参加 金融機関



課題

消費者ニーズや金融商品の多様化
⇒本部のチェック業務の負荷が増大
 お客様本位の業務運営と「働き方改革」の実現
⇒チェック業務の生産性向上が不可欠

実験概要

営業応接記録や音声通話記録から
 一定の時間内で「見つけるべき記録」を見つけ出す
 人のみによるチェックとの業務生産性を比較

「FinTech実証実験ハブ」実験結果

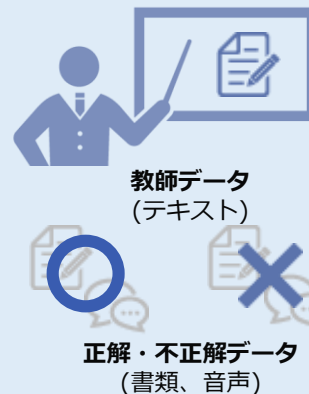
- ✓ 作業時間が **42%と大幅に短縮**
- ✓ 正解検出数 **2倍とエキスパートと同等の精度**
- ✓ 業務経験の多寡による検出能力のバラつきが軽減
業務能力の標準化に貢献することを確認



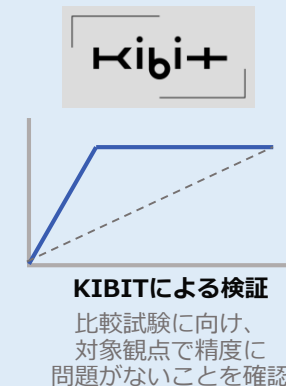
“FRONTEO FinTech実証実験ハブ最終報告書”

https://kibit.fronteo.com/wp-content/uploads/2020/03/FRONTEO_FinTech_Report_20180801s.pdf

データ準備



KIBIT 精度検証



比較試験の実施 (対照実験)

	Checker No.1	Checker No.2	Checker No.3
Current Approach	Data set (1)	Data set (2)	Data set (1)
KIBIT's Approach	Data set (2)	Data set (1)	Data set (2)

各データセットが両方法でチェックされるとともに、
 確認者が同じデータを確認しないよう割当



正解数・確認件数・作業終了までの時間（実行数）を測定

事例2：特許行政事務の高度化・効率化 事例3：行政・自治体向け情報開示対応システム

特許庁公募事業 ～実証研究事業～ KIBITによる商標登録出願審査の効率化

委託者

特許庁

課題

商標登録出願の審査では、商標の権利範囲を明確化するため「指定商品・指定役務」の区分チェックを行う

→「指定商品・指定役務」が不明確な場合、
審査官が多大な時間を掛けて手作業で対応

研究概要

商品・役務名の類似コード付与の業務について、
KIBITの活用により効率化を図る
平成29年度、平成30年度と継続して実証研究を受託

平成29年度の実証研究結果

✓ 作業時間 **最大17%短縮・正答率増加**を確認

平成30年度の実証研究結果

✓ 商標審査官等による試行を実施。
審査実務に有用であるという評価を獲得



「平成29年度人工知能技術を活用した不明確な商品・役務チェック業務の高度化・効率化実証的研究事業」事業報告書
https://www.jpo.go.jp/shiryou/toushin/chousa/pdf/180607_ai_tm_katsuyou/02.pdf

「平成30年度人工知能技術を活用した不明確な商品・役務チェック業務の高度化・効率化実証的研究事業」の公募結果について
http://www.jpo.go.jp/koubo/koubo/180725_ai_humeikaku_kekka.html

「行政・自治体向け情報開示対応システム」 米国ディスカバリ対応のノウハウとKIBIT活用で 情報公開請求の迅速化・効率化を実現

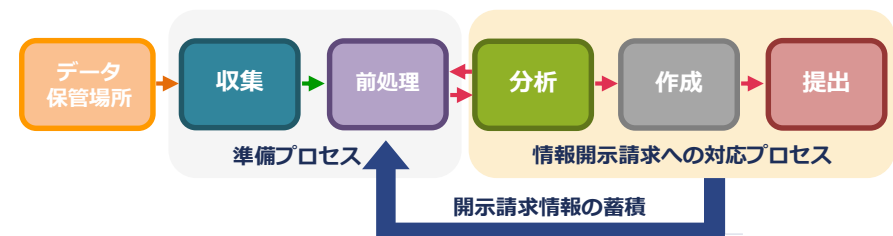
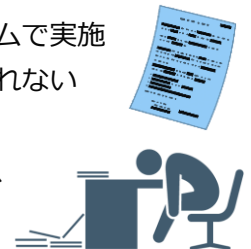
課題

日本の行政機関では年間約12万件※の開示請求が利用される（1日100件を超える請求に対応する機関も）
※2017年 総務省調べ

→データ前処理から文書発見、
非開示箇所の黒塗りまでの効率化が課題

システム概要

- ✓ 情報開示作業を1つのシステムで実施
- ✓ キーワード検索では見つからない文書をKIBITが発見
- ✓ 黒塗り箇所をあらかじめ指定、作業工程を大幅に削減



行政・自治体の業務を効率化しつつ、
国民・住民の知る権利に応える情報公開制度の
意義を実現

事例4：離職予兆発見 事例5：症状悪化の予兆発見

HRソリューション KIBITを活用し離職リスクを見極め

導入企業



東証1部上場 医療・介護・保育サービス企業の大手

全国1,500以上の医療機関に
2万人以上の医療事務に携わる社員が勤務

新入社員は年間約5,000人におよぶなか、
社員の声を細やかに聞き適切なフォローをする仕組み
づくりにKIBITを活用

効果検証

- ① 新入社員2,000人の
面談記録を毎月分析

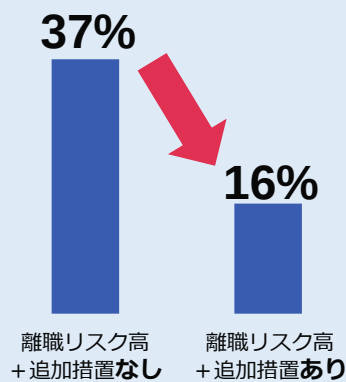


- ② KIBITが離職リスクの高い
社員を抽出



- ③ 該当者との追加面談や
配置替え、シフト変更など
適切な対策（※追加措置）を実施

KIBIT活用後 追加措置※の有無による 離職率の差異



症状悪化の予兆を 早期発見する仕組みを構築

導入企業



東京都の教育・就労支援を行う東証1部上場企業
発達障害児向けの教育事業、障がい者向けの就労支援
事業などを運営

KIBITを活用して支援記録を解析し、精神状態の悪化を
未然に防ぐ仕組みを運用している

施策

- ① 障がい者向けの就労支援における
過去の支援記録をリスクレベルで仕分け、
KIBITに投入
- ② 重篤度の高い記録に共通する特徴を
自動で学習
- ③ 実際の支援記録を評価、
症状悪化のアラートを上げる仕組みを構築



効果

- ✓ 見逃しがちな「ヒヤリハット」データをKIBITが発見
- ✓ 症状悪化まで至る割合が半分に減少
- ✓ 検討開始からわずか4ヶ月で本格運用を開始

広告審査ソリューション

不適切な画像や表現等を自動で検出し、広告審査業務の大幅な効率化を実現

①企業は多様な規制に対応する必要がある

景品表示法

薬機法

商標法

企業ごとの
チェック
ルール

違反すると課徴金等のリスクあり

②課題

品質

チェック項目によって、品質にばらつきが生じやすい

リード
タイム

表記の修正までに時間がかかる

リーガル

チェックミスが起きると表記NGの項目が流出してしまう

③FRONTEOのサービス

ルール作成支援データ
アセスメント

審査業務の状況整理や
ルールの明確化等を実施

ルールの逸脱検知

規定やマニュアルに沿っていないルールの逸脱を検知

画像チェック

画像におけるルールの
逸脱を検知

**業務量の削減、スピードアップ、全件チェック体制の構築、
販促物の品質向上を実現**

MRの日報/週報審査ソリューション 厚労省・販売情報提供活動新ガイドラインへの対応をサポート

背景

厚生労働省の「医療用医薬品の販売情報提供活動に関するガイドライン」が 2019 年 4 月に適用
→求められることは監督指導や体制のさらなる強化

課題

MR（医療情報担当者）の営業日報/週報の管理は、膨大なデータのモニタリングが必要
→**対応工数や体制の確保が大きな課題**

従来

日報を全件チェックするのに、
約30人/月
の審査担当者が**必要**

※MR在籍数1,000名、日報作成1人あたり1日5件、日報チェック時間
1件あたり3分にした場合
審査対象の日報総量：100,000件/月（5,000件×20営業日）と試算

導入後

日報を全件チェックするのに、
1人/月
の審査担当者が**対応可能**
(95%削減)

※疑義のある日報を5%（5,000件）と仮定した場合
※時間換算で4,750時間相当の削減効果

技能伝承ソリューション AGC株式会社と共同でガラス製造AI Q&Aシステム「匠KIBIT」を開発

背景と課題

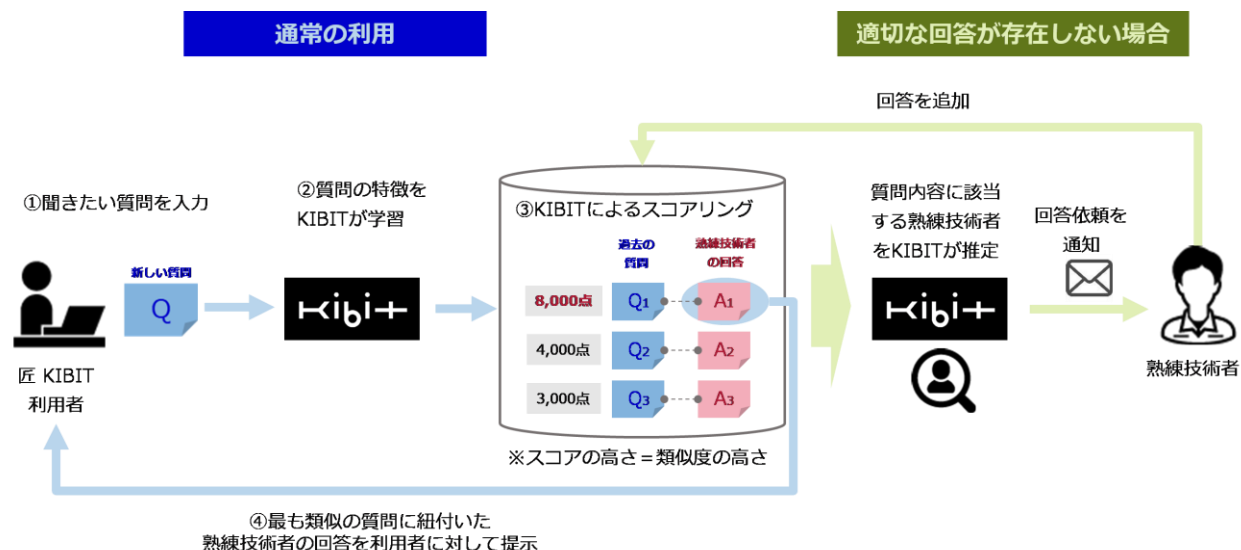
ガラス製造に必要な独自の高い技術力は他社との差別化に繋がっている一方、各工場が蓄積したノウハウの共有や、熟練技術者から若手技術者への技能伝承が課題となっていた

効果

「匠KIBIT」により、熟練技術者の保有するガラス製造の知見をグループ内の技術者が簡単に引き出すことが可能に



「匠KIBIT」使用時の様子



リーガルテックAI事業

表舞台



- 知財訴訟（民事訴訟、ITC調査）
- PL訴訟
- カルテル調査（司法省、民事訴訟）
- 2nd リクエスト（米国公正取引委員会）
- その他調査
（国家運輸安全委員会、商務省など）FCPA

裏舞台

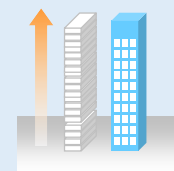
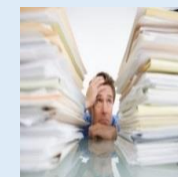
「誠実に、正確に、期限内に」
証拠を提出することが求められる

膨大な証拠チェック



パソコン（メモリー20GB）に納められた
データをA4ペーパーに印刷すると...

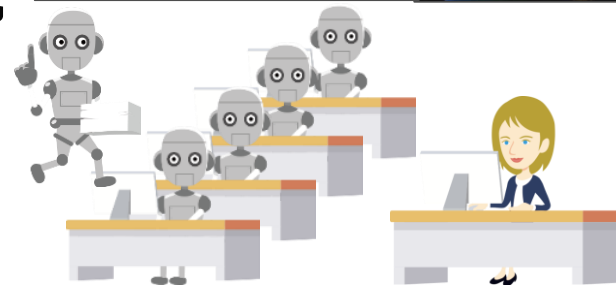
⇒100階建てビルの高さに！



米国でのAI実績

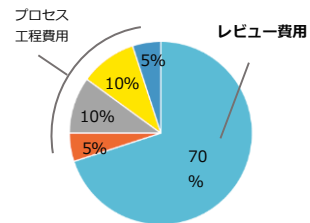


AI による レビューの自動化



コスト・労力・時間

どれを取っても、
ドキュメントレビュー
の負担が大きい



Collection



Data Process



Document Review



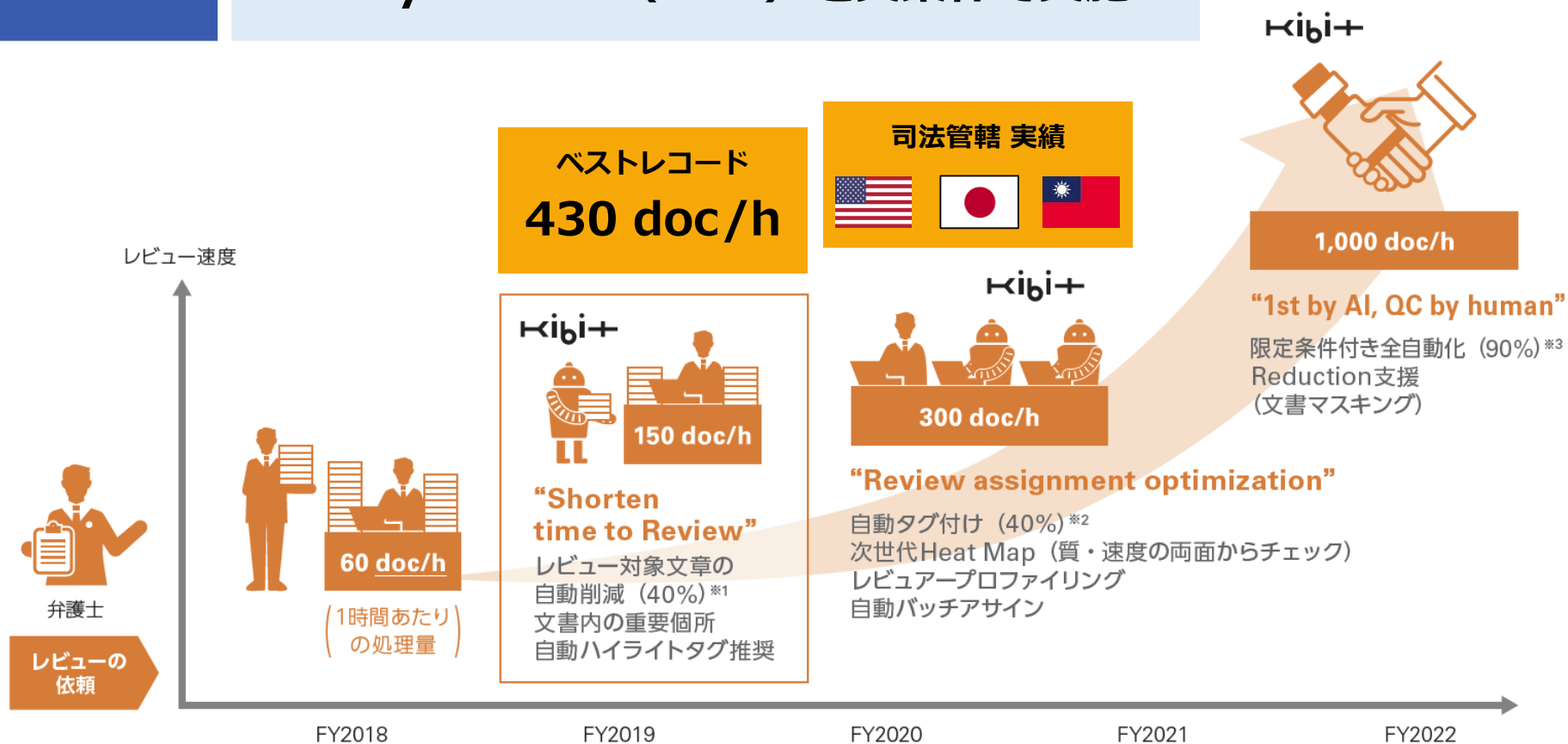
Hosting

Production

Kibi+ Automator

FY2019

人の手を介さない、
AI Only Review (AOR) を実案件で実施

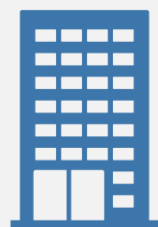


※1: 調査対象文章群に含まれる証拠文章の比率が低い場合 ※2: Predictive Coding ※3: 少数のハイリスク文章は人がチェック

米国法律事務所のネットワーク、米国現地法人にリーチすることが重要

アジア

本社では
ベンダーを選定せず、
米国の現地法人や
法律事務所に一任



顧客企業
本社

本社法務室への営業では
効果が限定的



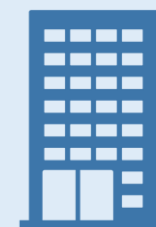
FRONTEO

米 国

eディスカバリベンダーは米国で選定

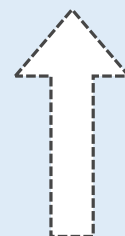


法律事務所



顧客企業
米国現地法人

米国での知名度向上
ネットワーク強化が重要



米国eディスカバリベンダー



FRONTEO Bright Value

記録に埋もれたリスクとチャンスを見逃さない



お問い合わせ先 株式会社FRONTEO
Email: ir_info@fronteo.com

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください。業界等における記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させて頂くものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。